

第7回 政策情報学 フォーラム

主催：政策情報学会

東日本大震災 の政策 対応

◆政策情報学フォーラムへのお誘い

昨年度の第6回目の政策情報学フォーラムに引き続き、本年度も第5回目となる政策情報学フォーラムを開催します。本年度は、第5回までの会場であった立命館大学東京キャンパスにおいて7月14日(土)に開催することになりました。このフォーラムを通じて、領域を越境した議論を行い、全ての参加者に有益な成果をあげられることを期待しております。

◆政策情報学フォーラムの目的

このフォーラムの目的は、議論を行う上で時間的制約などがある研究大会などのイベントとは異なり、小規模で政策情報学に関連した様々なテーマを取り扱い、時間をかけた密度の高い議論を行っていくことにあります。また、さまざまな異なる立場の交流と協働の「開かれた対話と創造の場」として構想されており、現実のさまざまな政策問題を探求、検討し、実際にその解決策を提示しながら、社会の持続的発展に寄与することを狙いとしております。

◆今回のフォーラムの特徴

東日本大震災と原子力発電所の一連の事故から1年以上が経過し、各界における意見が出尽くした感すらある今日においても、「災害発生後の政策対応」という視点を学会が組織的に考え、提言をする段階には未だ至っていません。そこで、第7回目となるフォーラムでは、「政策情報をどのように扱うのか」ということを通じた議論を展開したいと考えております。特に、これまでの政策をめぐる状況を再確認をした上で、学会内外の皆様との探求・検討作業を行いたいと思います。

そして、参加する全ての方に発言をしていただき、学会としてのメッセージ形成を実現したいと思っております。また、フォーラムの場では、皆様のご意見などをコーディネーターとアシスタントがまとめ、その上で政策情報学を創っていくという新しい試みを昨年度に引き続いて実践します。そのため、政策分野だけでなく、幅広い分野の方々、さらには政策に興味を持たれている市民の方のご参加をお待ちしております。

- 14:00-14:20 歓迎挨拶・フォーラムの趣旨説明
政策情報学会会長 仲上健一(立命館大学政策科学部教授)
- 14:20-16:20 話題提供および討論会：「東日本大震災および原発事故後の政策対応を考える」
コーディネーター：竹下 賢(関西大学法科大学院教授)
山神 進(立命館アジア太平洋大学副学長)
話題提供：奥村裕一(東京大学公共政策大学院特任教授)
アシスタント：加藤久明(総合地球環境学研究所プロジェクト研究推進支援員)
- 16:20-16:30 休憩
16:30-16:50 討論のまとめと各種質疑に対する応答
16:50-16:55 閉会の辞
17:30-19:00 懇親会

◆開催日時：2012年7月14日(土) 14:00～

◆開催会場：立命館東京キャンパス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階
(http://www.ritsumei.jp/tokyocampus/t02_j.html)

◆問い合わせ先：政策情報学会理事 加藤久明(※出席される方は事前にご連絡願います!)

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4 研究室4

E-Mail: policy-informatics@jcom.home.ne.jp / TEL: 075-707-2244